

2022年度 和泉短期大学 シラバス					
授業科目名	子ども家庭支援論		教員氏名	平沼 晶子	
科目ナンバー	Ⅲ-6-3-5				
学年	2年		開講学期	後期	
授業形態	講義		単位数	2単位	
必修・選択	保育士必修		実務経験	臨床心理士	16年
テーマ	家庭支援が必要とされる背景を理解し、具体的な支援方法の基礎を身に付ける。				
ディプロマ ポリシー	1.保育・福祉に関する基礎的な学修を通して、幅広い教養を身に付け、多様な人々を支える社会の理念・仕組みについての原理を理解している。				○
	2.保育・福祉の専門的な知識・技能を修得し、思考力、判断力、表現力、コミュニケーション力を身に付けている。				
	3.保育・福祉の専門職として多世代にわたる人々の権利を護り、愛と奉仕の精神を実践できる。				
カリキュラム ポリシー	科目群Ⅰ 教養	キリスト教主義の精神を踏まえて、保育と人権にかかわる人としての価値観を再構築する			○
	科目群Ⅱ 原理	様々な世代を支える社会の理念・仕組みについての学びを通して、愛と奉仕に基づく人間観を養う			
	科目群Ⅲ 知識・技能	子どもの心と体とそれを取り巻く環境を知り、共に成長するための様々な支援の内容と方法に関する専門的な知識と技能を身につける			
	科目群Ⅳ 実践	学んだ知識、技能、価値観を現場に即して臨機応変に実践できる体験を積み、キャリア形成の基礎を培う			
授業の概要	少子高齢化や核家族化が進み、地域社会とのつながりが希薄になるなど、今日の子育て家庭は様々な問題を抱えている。このような状況において、保育者による家庭支援は重要な課題とされている。授業では、子育て家庭を取り巻く問題を捉え、子ども家庭支援の意義と必要性を理解する。そして、映像資料や事例検討により具体的な支援方法を考え、調べ学習や発表を行うことで、意見交流をしながら現場に即した実践力を身に付ける。また、担当教員がもつ臨床心理士としての実務経験（発達相談員として保健センターに勤務）に基づく実践的な解説を通して、家庭支援のあり方を考察する。				
授業の 到達目標	1. 子育てをしている家庭の機能と家庭を取り巻く環境について説明できる。				
	2. 子育て家庭への支援に関する理解を深めるために、授業内でのプレゼンテーションやディスカッション、グループワークにおいて積極的な意見交流ができる。				
	3. 子育て家庭のニーズに応じた多様な支援を展開できる。				
テキスト	『シードブック 子ども家庭支援論 2019年度新保育士養成課程対応』松村和子編著 建帛社				
参考書	なし				
ポートフォリオ	なし				
往還型授業 (双方向授業)	授業内での疑問や、学びを進める中で生じた不明点を、対話を通じて授業内で明確にする				○
	リアクションペーパーを用いて、授業内での疑問等を対話形式にて対応する				○
	リアクションペーパーの内容やテーマをICTを用いて授業内で受講者全員に公開・共有し、往還的理解を深める				
	ICT(グーグルクラスルーム含む)を活用した課題提示・回収、アンケート等を実施する				○
	その他:				
成績評価方法	区分	割合(%)	内容		
	定期試験	0	実施しない		
	授業内課題 参加度 出席態度等	100	授業態度と意欲(20%)、授業内提出課題(40%)、期末課題(40%)		
	その他				

授業概要と課題			
第1回	テーマ 内容	オリエンテーション(授業概要・授業の進め方と注意事項) 子ども家庭支援の意義と機能	
	授業外学習	子ども家庭支援に関して、他の科目におけるこれまでの学びを振り返る。	210分
第2回	テーマ 内容	子ども家庭支援における保育士等の役割	
	授業外指示	家庭の機能について、時代による変化をまとめる。	210分
第3回	テーマ 内容	子ども家庭支援において求められる基本的態度	
	授業外指示	家庭支援の役割と機能について調べる。	210分
第4回	テーマ 内容	保育の特性と保育士の専門性を生かした支援	
	授業外指示	授業で視聴したDVDをもとに、低出生体重児をもつ家族の抱える問題についてまとめる。	210分
第5回	テーマ 内容	保護者との相互理解と信頼関係の形成	
	授業外指示	授業で視聴したDVDをもとに、保護者との信頼関係の形成についてまとめる。	210分
第6回	テーマ 内容	家庭の状況に応じた支援	
	授業外指示	視聴したDVDをもとに、良好なワークライフバランスを実現させるための課題について調べる。	210分
第7回	テーマ 内容	地域の資源の活用と関係諸機関との連携	
	授業外指示	テキスト第8・9章を参考に、居住地域の子育て支援事業について調べる。	210分
第8回	テーマ 内容	子育て家庭に対する支援の体制	
	授業外指示	テキスト第8・9章を参考に、居住地域の子育て支援の内容と対象について調べる。	210分
第9回	テーマ 内容	学生によるプレゼンテーション(1): 居住地域における子育て支援について調べた内容の発表と討議	
	授業外指示	発表の準備を行う。他の学生の発表を聞いて学んだことをまとめる。	210分

第10回	テーマ 内容	学生によるプレゼンテーション(2): 居住地域における子育て支援について調べた内容の発表と討議	
	授業外指示	発表の準備を行う。他の学生の発表を聞いて学んだことをまとめる。	210分
第11回	テーマ 内容	保育所等利用児童の家庭への支援と展開	
	授業外指示	授業で視聴したDVDをもとに、実際の支援のあり方について自分の考えをまとめる。	210分
第12回	テーマ 内容	子ども家庭支援の現状と課題	
	授業外指示	保育現場における子育て支援の現状と課題についてまとめる。	210分
第13回	テーマ 内容	総括 再考: 子ども家庭支援における保育士等の役割	
	授業外指示	シラバスに書かれている到達目標について自己点検を行い、自身の学びをふり返る。	210分

課題に対するフィードバックの方法

レポート等の課題に対しては、受講生全体に向けて取り組みの成果や要点について授業内でフィードバックを行う。学生による発表に対しては、学生同士の意見交流を図ったのち補足事項やコメントを述べる。

2022年度 和泉短期大学 シラバス					
授業科目名 科目ナンバー	子ども家庭支援論		教員氏名	岡田啓子	
	Ⅲ-6-3-5				
学年	2年		開講学期	後期	
授業形態	講義		単位数	2単位	
必修・選択	保育士必修		実務経験	発達相談員	7年
テーマ	家庭支援が必要とされる背景を理解し、具体的な支援方法の基礎を身に付ける。				
ディプロマ ポリシー	1.保育・福祉に関する基礎的な学修を通して、幅広い教養を身に付け、多様な人々を支える社会の理念・仕組みについての原理を理解している。				○
	2.保育・福祉の専門的な知識・技能を修得し、思考力、判断力、表現力、コミュニケーション力を身に付けている。				
	3.保育・福祉の専門職として多世代にわたる人々の権利を護り、愛と奉仕の精神を実践できる。				
カリキュラム ポリシー	科目群Ⅰ 教養	キリスト教主義の精神を踏まえて、保育と人権にかかわる人としての価値観を再構築する			○
	科目群Ⅱ 原理	様々な世代を支える社会の理念・仕組みについての学びを通して、愛と奉仕に基づく人間観を養う			
	科目群Ⅲ 知識・技能	子どもの心と体とそれを取り巻く環境を知り、共に成長するための様々な支援の内容と方法に関する専門的な知識と技能を身につける			
	科目群Ⅳ 実践	学んだ知識、技能、価値観を現場に即して臨機応変に実践できる体験を積み、キャリア形成の基礎を培う			
授業の概要	少子高齢化や核家族化が進み、地域社会とのつながりが希薄になるなど、今日の子育て家庭は様々な問題を抱えている。このような状況において、保育者による家庭支援は重要な課題とされている。授業では、子育て家庭を取り巻く様々な問題を捉え、子ども家庭支援の意義と必要性を理解する。そして、映像資料や事例検討により具体的な支援方法を考え、調べ学習や発表を行うことで、意見交流をしながら現場に即した実践力を身に付ける。また、担当教員がもつ実務経験(発達相談員として保健センターに勤務)に基づく実践的な解説を通して、家庭支援のあり方を考察する。				
授業の 到達目標	1 子育てをしている家庭の機能と家庭を取り巻く環境について説明できる。				
	2 子育て家庭への支援に関する理解を深めるために、授業内でのプレゼンテーションやディスカッションにおいて積極的な意見交流ができる。				
	3. 子育て家庭のニーズに応じた多様な支援を展開できる。				
テキスト	『シードブック 子ども家庭支援論 2019年度新保育士養成課程対応』 松村和子編著 建帛社				
参考書	文部科学省「幼稚園教育要領解説」フレーベル館 厚生労働省「保育所保育指針解説書」フレーベル館 内閣府・文部科学省・厚生労働省「幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説」フレーベル館				
ポートフォリオ	なし				
往還型授業 (双方向授業)	授業内での疑問や、学びを進める中で生じた不明点を、対話を通じて授業内で明確にする				○
	リアクションペーパーを用いて授業内での疑問等を対話形式にて対応する				○
	リアクションペーパーの内容やテーマをICTを用いて授業内で受講者全員に公開・共有し、往還的理解を深める				
	ICT(グーグルクラスルーム含む)を活用した課題提示・回収、アンケート等を実施する				○
	その他:				
成績評価方法	区分	割合(%)	内容		
	定期試験	0	実施しない		
	授業内課題 参加度 出席態度等	55%	授業態度と意欲(10%)、授業内提出課題・発表(45%)		
	その他	45%	期末課題		

授業概要と課題			
第1回	テーマ 内容	オリエンテーション(授業概要・授業の進め方と注意事項) 子ども家庭支援の意義と機能	
	授業外学習	子ども家庭支援に関して、他の科目におけるこれまでの学びを振り返る。	210分
第2回	テーマ 内容	子ども家庭支援における保育士等の役割	
	授業外指示	家庭の機能について、時代による変化をまとめる。	210分
第3回	テーマ 内容	子ども家庭支援において求められる基本的態度	
	授業外指示	家庭支援の役割と機能について調べる。	210分
第4回	テーマ 内容	保育の特性と保育士の専門性を生かした支援	
	授業外指示	授業で視聴したDVDをもとに、低出生体重児をもつ家族の抱える問題についてまとめる。	210分
第5回	テーマ 内容	保護者との相互理解と信頼関係の形成	
	授業外指示	授業で視聴したDVDをもとに、保護者との信頼関係の形成についてまとめる。	210分
第6回	テーマ 内容	家庭の状況に応じた支援	
	授業外指示	視聴したDVDをもとに、良好なワークライフバランスを実現させるための課題について調べる。	210分
第7回	テーマ 内容	地域の資源の活用と関係諸機関との連携	
	授業外指示	テキストp125-p138を参考に、居住地域の子育て支援事業について調べる。	210分
第8回	テーマ 内容	子育て家庭に対する支援の体制	
	授業外指示	テキストp125-p138を参考に、居住地域の子育て支援の内容と対象について調べる。	210分
第9回	テーマ 内容	学生によるプレゼンテーション(1):居住地域における子育て支援について調べた内容の発表と討議	
	授業外指示	発表の準備を行う。他の学生の発表を聞いて学んだことをまとめる。	210分

第10回	テーマ 内容	学生によるプレゼンテーション(2): 居住地域における子育て支援について調べた内容の発表と討議	
	授業外指示	発表の準備を行う。他の学生の発表を聞いて学んだことをまとめる。	210分
第11回	テーマ 内容	保育所等利用児童の家庭への支援と展開	
	授業外指示	授業で視聴したDVDをもとに、実際の支援のあり方について自分の考えをまとめる。	210分
第12回	テーマ 内容	子ども家庭支援の現状と課題	
	授業外指示	保育現場における子育て支援の現状と課題についてまとめる。	210分
第13回	テーマ 内容	総括 再考: 子ども家庭支援における保育士等の役割	
	授業外指示	シラバスに書かれている到達目標について自己点検を行い、自身の学びをふり返る。	210分

課題に対するフィードバックの方法

レポート等の課題に対しては、受講生全体に向けて取り組みの成果や要点について授業内でフィードバックを行う。学生の発表に対しては、学生同士の意見交流やGoogleクラスルームを通じたフィードバックを図ったのち、教員が補足事項やコメントを述べ、再度グループでの振り返りを行う。